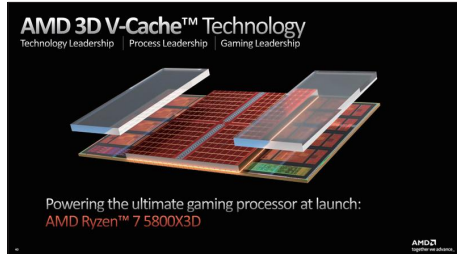


AMD Ryzen+AMD Radeonで ゲームがより高精細、高パフォーマンスに

AMD Ryzen 7 7800X3Dの AMD 3D V-Cacheはゲームに強い!



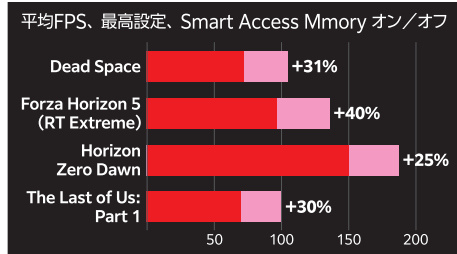
◀Ryzen 7 7800X3Dが採用する3D V-Cacheは、CPUコアに大容量の3次キャッシュを結合することで、ゲームパフォーマンスを引き上げる技術。ゲームによっては効果が非常に高い。

Ryzen+Radeonで さらにパフォーマンス

ゲームをより快適に遊びたいなら、CPUにAMD Ryzen、GPUには外付けタイプのAMD Radeonという組み合わせをオススメしたい。

とくに「AMD Ryzen 7 7800X3D」は大容量の3次キャッシュ「AMD 3D V-Cache」を搭載しており、ゲームによってはフレームレイトが向上する。多くのゲーマーが注目しているCPUなのだ。GPUでは、現在主流のフルHD(1920×1080ドット)から一歩進めて、さらに高い解像度で高画質/高フレーム

AMD Radeon RX 7800 XTとの 組み合わせがオススメ



◀RyzenとRadeonを組み合わせると「SAM」(AMD Smart Access Memory)が利用可能になり、ゲームのパフォーマンスがさらに向上する。

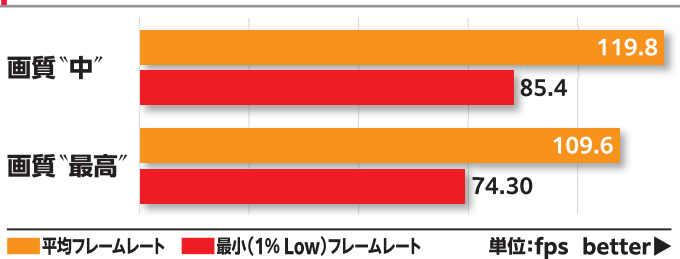
レートで遊ぶなら、ミドルクラス製品の「AMD Radeon RX 7800 XT」との組み合わせが狙い目だ。画面解像度WQHD(2560×1440ドット)環境が想定されており、下のグラフのように最新ゲームでも高い性能を発揮する。

また、AMD製のCPUとGPUと組み合わせると「SAM」(AMD Smart Access Memory)が利用できるようになる。CPUがGPUのビデオメモリーに自在にアクセスできる技術で、ゲームのパフォーマンスをさらにアップできる。マザーボードのBIOS(UEFI)の設定が必須だが、ひと手間かける価値がある技術だ。

BENCHMARK WQHD(2560×1440)が60fpsでサクサク

ARMORED CORE VI FIRES OF RUBICON

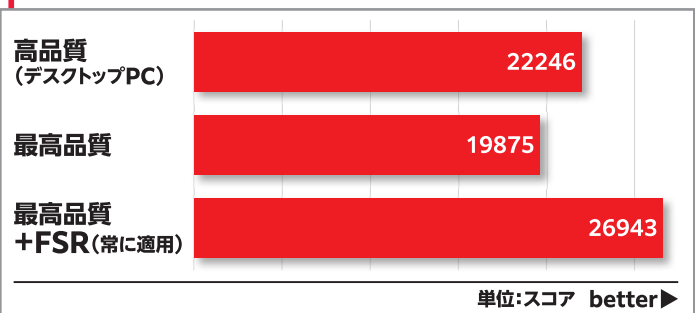
画面解像度2560×1440ドット



▲画質“中”で上限フレームレートの120fpsに迫り、画質“最高”でも平均100fpsに達した。自分好みの機体をなめらかに動かす醍醐味を満喫できる結果だ。

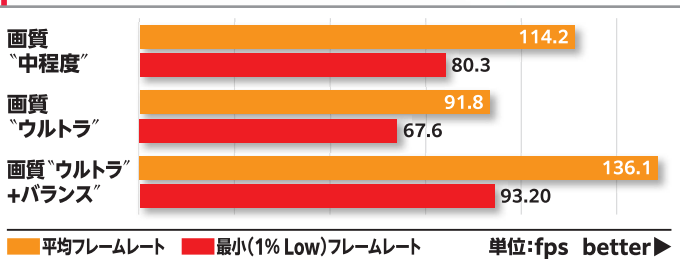
ファイナルファンタジーXIV: 黄金のレガシー ベンチマーク

画面解像度2560×1440ドット

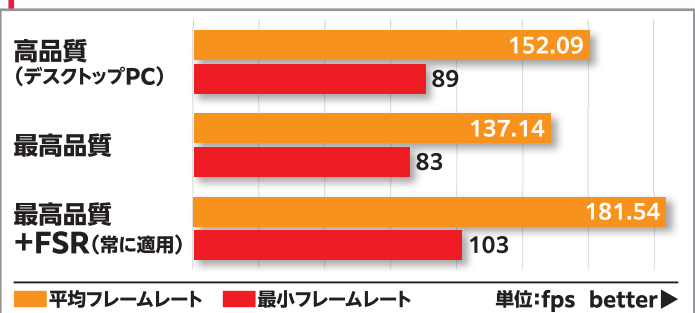


HELLDIVERS 2

画面解像度2560×1440ドット



▲画質が一番高い“ウルトラ”設定でも結果は良好。レンダリングスケールを“バランス”に設定するとさらに余裕のあるフレームレートとなるため、遊びやすい。



▲画質設定“最高品質”で、「非常に快適」に該当する「19875スコア」を記録。フレームレートでは平均と最小のどちらも高く、高精細な映像を楽しめるだろう。